# 小6 社会 歴史 縄文～江戸 一問一答（20問）　版O

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿＿

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 地面を掘り下げて柱を立て、屋根をかけた住まいを何というか

(2) 佐賀県にある、堀やさくで囲まれた弥生時代の大きなむらの遺跡を何というか

(3) 古墳のまわりに並べられた、人や馬などの形をした焼き物を何というか

(4) 中国や朝鮮半島から日本に移り住み、進んだ技術や漢字を伝えた人々を何というか

(5) 聖徳太子が建てたといわれ、世界で最も古い木造建築として知られる奈良県の寺を何というか

(6) 何度も失敗しながら中国（唐）からわたって来て、正しい仏教の教えを伝えた僧はだれか

(7) 娘を天皇のきさきにして大きな力を持ち、「この世をば わが世とぞ思ふ」の歌をよんだ貴族はだれか

(8) 794年に、京都につくられた都を何というか

(9) 645年に、中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏をたおして始めた政治の改革を何というか

(10) 中国の唐の進んだ制度や文化を学ぶために送られた使いを何というか

(11) 室町幕府の3代将軍で、京都の北山に金閣を建て、中国（明）との貿易を始めた人物はだれか

(12) 源頼朝の弟で、壇ノ浦の戦いで平氏をほろぼした武将はだれか

(13) 鎌倉幕府の執権として、九州に攻めてきた元の大軍と戦った人物はだれか

(14) 長篠の戦いで武田氏を破り、安土城を建てて天下統一を進めた人物はだれか

(15) 豊臣秀吉が、百姓から刀などの武器を取り上げたことを何というか

(16) 1549年に日本に来て、キリスト教を伝えた宣教師はだれか

(17) 大名が1年おきに、江戸と自分の領地を行き来するきまりを何というか

(18) 前野良沢らとともに、オランダ語の医学書をほん訳して『解体新書』を出した人物はだれか

(19) 「東海道五十三次」など、各地の風景の浮世絵をえがいた人物はだれか

(20) 江戸時代に、町人や百姓の子どもたちが読み・書き・そろばんを学んだところを何というか